

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が拡大した。  
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	繊維、金属製品、電気機械	民間工事受注の獲得 受注環境の改善
	悪化	食料品、化学、窯業・土石、鉄鋼、はん用・生産用・業務用機械	販売価格引上げに伴う販売下振れ懸念 公共工事関連受注の減少 国内設備投資の下振れ懸念 海外需要の下振れ懸念
非製造業	改善	建設、不動産、対事業所サービス	公共工事受注の獲得 住宅投資の持ち直し
	悪化	物品賃貸、小売、運輸・郵便、宿泊・飲食サービス	個人消費の下振れ懸念 北陸新幹線開通効果の一服

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。  
—— 製造業では今回調査並みの「悪い」超を見込んでいるほか、非製造業では「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2016年度の**売上高**は、前年並みの計画、**経常利益**は、前年を上回る計画である。  
—— 経常利益は、製造業で、合理化などによるコスト削減や、暖冬による販売不振からの売上反動増などを見込んでおり、増益計画となっている。非製造業は、原材料価格上昇に伴うコスト増などを見込んでおり、減益計画となっている。  
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、海外需要の増加や暖冬による販売不振からの売上反動増、個人消費の持ち直しなどから、製造業、非製造業ともに上方修正となった。

- 2016年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。

—— 製造業は、受注好調に伴う生産能力増強投資が計画されており、前年を上回る計画となっている。非製造業は、前年の大型投資の反動から、前年を下回る計画である。

—— 前回調査対比では、製造業で、設備老朽化に伴う更新投資や受注好調に伴う能増投資の計画がみられたことなどから、上方修正となった。非製造業では、新規出店計画の拡大などから、上方修正となった。

- この間、2015年度の売上高は前年を上回ったものの、経常利益、設備投資は前年を下回った。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「下落」超幅が縮小した。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が縮小した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が拡大した。
- **資金繰り判断D. I.**は、「楽である」超幅が拡大した。**貸出態度判断D. I.**は、「緩い」超幅が拡大した。**借入金利水準判断D. I.**は、「低下」超幅が拡大した。

以 上